

////////////////////////////////////
平成 31 年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果について
 //////////////////////////////////////

4月18日に6学年児童を対象に実施しました「平成31年度 全国学力・学習状況調査」について、文部科学省及び北海道教育委員会、旭川市教育委員会の報告書が公表されました。これらの報告書をもとに本校の結果を検証し、その概要と指導の改善策をまとめましたのでご報告いたします。

今回の結果分析で、本校では国語、算数ともに十分な学力の定着が認められました。以下、各教科の特に正答率が高かった領域・分野を「成果」、他の領域や分野に比べて正答率が低かったところを「課題」としています。

今後は、この調査の結果分析をもとに、家庭・地域の連携をいただきながら、学力向上に向けた指導改善を一層推進してまいりますので、変わらぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

1 国語科に関する結果分析及び指導の改善策

傾向	○国語全体を通じて、条件や指示に合わせて整理した自分の考えを記述で表現する力が極めて高いことが、好成績の基盤となっています。
成果	○図表やグラフに示された情報を正確に捉え、相手に分かりやすく伝えるための論述力・記述力とその表現の工夫を身に付けています。 ○目的に応じて文章の内容を的確におさえ、自分の考えを明確にしながらかく読むことができている。 ○話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることができている。
課題	▲「対象/対称」「関心/感心」など、同音異義の漢字を理解し、文中で正しく使うことが十分ではありませんでした。
指導・改善	○これまでどおり「読み取る」「話す」「聞く」そして「書く」などの言語活動の指導をあらゆる教科・領域で横断的に取り組んでまいります。 ○「資料の読み取り→情報の取り出し→文章表現」の学習を繰り返し行うこと、つまり、得た知識や情報（インプット）を関連付けて整理・分析し、発信（アウトプット）することをセットにした学習活動を継続的に指導していきます。 ○漢字は覚えていても実際に日常生活で使えなければ、本当の意味で身に付いたとは言えません。多くの学級で毎日のように「漢字テスト」を実施していますが、こうした日常的な反復練習に加え、「漢字の意味を辞書で調べる」「漢字を使って短文を作る」などの指導を充実させていきます。また、作文指導や各教科・領域で漢字を適切に使う指導や漢字を使う場面を多く設定するなどの工夫を行っていきます。

2 算数科に関する結果分析及び指導の改善策

傾向	○国語科の学力とも通じますが、問題の場面や条件を論理的に把握して思考する力（インプット）、それを整理して解や解法を記述等で表現する力（アウトプット）を身に付けている児童が増えてきていることが分かりました。
成果	○特異な形状の図形の面積の求め方を解釈し、その面積の求め方を文章と数値を用いて説明することが適切にできています。 ○2種類のデータの特性や傾向を読み取り、それらを関連付けて判断したり、予測したりでき、その根拠を記述により説明したりすることができています。 ○加法と乗法の混合した整数と小数の計算を正確にすることができ、基礎的な計算技能を身に付けています。
課題	▲棒グラフなどのデータから数量の変化を適切に読み取ることが不十分でした。 ▲伴って変わる2つの数量関係の法則性を見だし、答えを推測することが他の問題と比べると理解が不十分でした。

指導改善	<p>○複数の数量を条件に合わせて比較したり、目的に合わせて条件を統一したりして適正に処理するなどの学習訓練を重視して指導していきます。</p> <p>○計算力などに課題がある児童に対しては、習熟度別指導や少人数指導の中での個別の支援を継続していきます。</p> <p>○複数の条件や情報がある場合にも、書き出したり、問題に照らし合わせたりしながら解決に必要なデータを整理・分析する訓練を日常的に、あるいは、他教科・他領域でも取り入れて指導を進めます。</p>
------	--

3 児童質問に関する結果分析及び指導の改善策

傾向と改善策	<p>○「自分には、よいところがあると思う」に対する肯定的な答えは、全国81.2%に対して本校89.1%と大きく上回っています。これまで本校児童は「自己肯定感」が低い傾向にありましたが、少しずつ、自分に自信がもてる児童が増えてきました。(昨年の同項目の数値は75%でした) 日常的に児童のよさを認める場面を設定し、多くの児童に自己有用感を自覚させる教育ができてきているよい傾向と捉えます。</p> <p>○「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」に対する肯定的な答えは全国86.0%に対して本校95.7%と、これもかなり高い数値となりました。また、「将来の夢や目標を持っていますか」の設問にも全国82.0%に対して本校89.1%と高い結果です。日常の児童のよさを見つけ、認める教育の現れであり、本年度の学校経営の重点としている「夢や希望をもち、自分から進んで行動する子どもの育成」が着実に進展していると言えます。今後も継続して児童一人一人のよさを認め、可能性や自尊感情を伸ばす教育活動を実践していきます。</p> <p>▲「学校のきまりを守っていますか」に対する肯定的な答えは全国91.4%に対して本校80.4%とやや低い傾向にあります。昨年度の調査でも同様の傾向が見られました。また、学校評価でも「廊下歩行」「挨拶」等の規範意識の弱さが指摘されています。生徒指導部を中心にした指導体制を構築するとともに、特別の教科・道徳を通して「きまりを守ることの大切さ」を強調指導していきます。</p> <p>▲「学校以外での読書時間」は、「全くしない」と答えた児童の割合が30.4% (昨年度43.2%) もありました。「10分より少ない」も含めると45.6% (昨年度65.8%) にもなります。昨年度よりは、かなり向上が見られますが、依然「よりよい読書習慣が身に付いている」とは言えない結果となっています。読書は、基礎的な学力と密接な関連がありますので、国語科の指導や朝読書の時間を有効に活用し、よりよい読書習慣が身に付くよう支援していきます。また、この課題の解消には、ご家庭の全面的なご理解とご協力が必須です。ご家庭でも「〇〇家 読書週間」やゲーム機やテレビをつけずに読書に親しむ「アウト・メディアの日」などの家庭行事に取り組んでみてはいかがでしょうか。</p>
--------	---

【全国の結果】

国立教育政策研究所 <http://www.nier.go.jp/19chousakekkahoukoku/index.html>

または、検索サイトで と検索

【北海道の結果】

北海道教育委員会 <http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/gks/gakuryoku31/top.htm>

または、検索サイトで と検索、サイト内検索で と検索

【旭川市の結果】

旭川市のHP <https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/218/251/257/d056900.html>

または、検索サイトで と検索